



三井化学における事故情報の活用について

三井化学(株)
安全・環境部 保安技術センター
岡田 理

目次

1. 三井化学株式会社の紹介
2. RC関連社内DBの概要
3. 事故情報DBの概要
4. 事故情報の活用事例
5. 現状の問題点と今後の課題

1. 三井化学株式会社の紹介

三井化学株式会社概要

会社概要

創 立 : 1997年10月1日
 資 本 金 : 1,032億円(2008/3/31現在)
 売 上 高 : 17,867億円(2007年度連結)
 従業員数 : 12,814人(2008/3/31現在)
 工 場 数 : 5工場(他 関係会社 2工場)



主要製品

事業本部	製 品
機能材料事業本部	工業用樹脂、ウレタン樹脂、エラストマー樹脂、不織布、半導体材料など
先端化学品事業本部	農薬、医薬中間体、触媒、色素材、メガネレンズ用モノマーなど
基礎化学品事業本部	フェノール、エチレングリコール、ポリエチレン、ポリプロピレン、PET樹脂、ビスフェノール、テレフタル酸など

本社、工場、研究所の位置

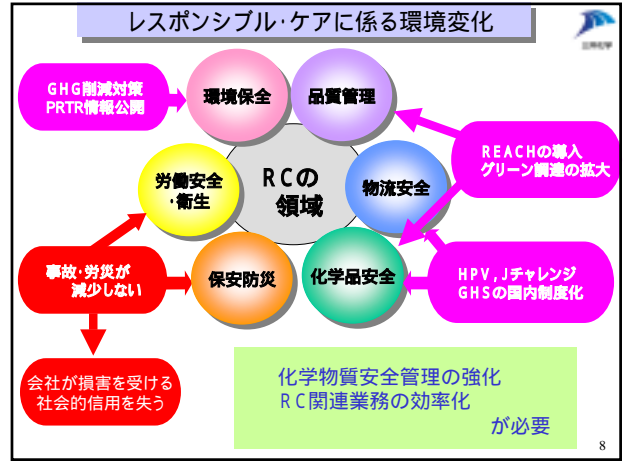
● 本社 ● 支店 ● 工場 ● 研究所 ● 関係会社



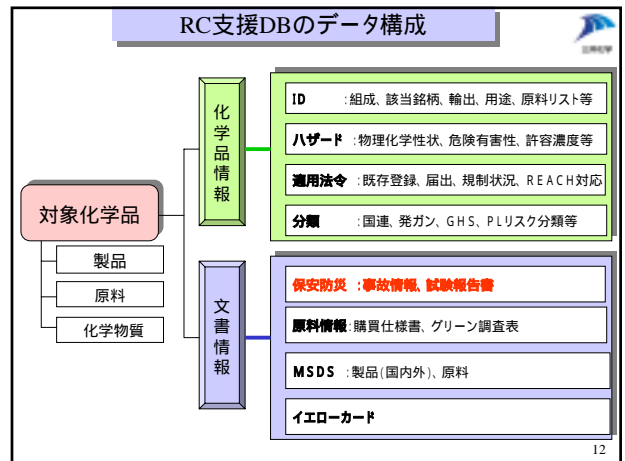
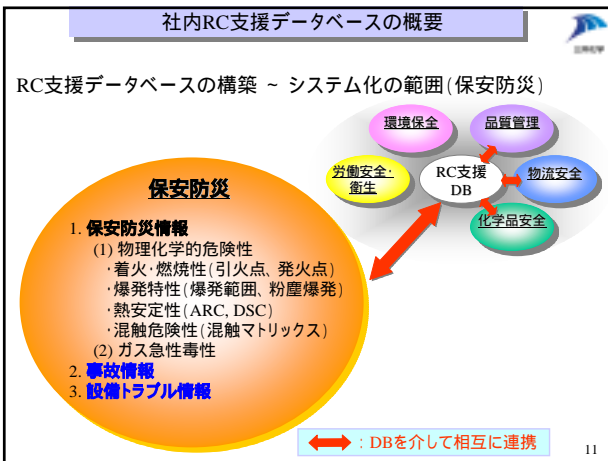
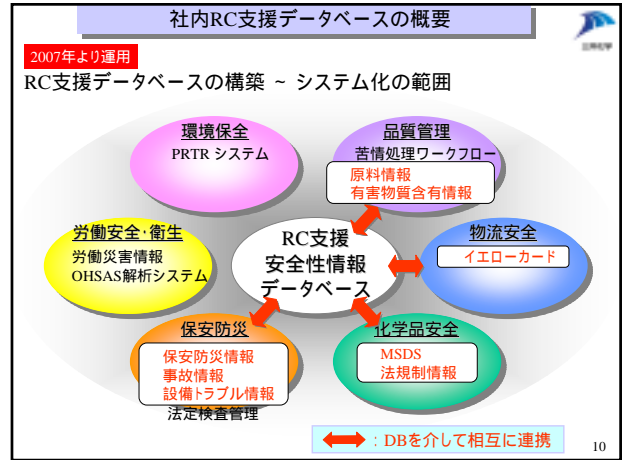
2. RC関連社内DBの概要

- . RC領域の環境変化
- . RC支援データベースの概要

RC領域の環境変化



RC支援データベースの概要



3. 事故情報関連DBの概要

- . 社内事故情報関連DBの概要
- . 事故情報データベースの概要

13

. 社内事故情報関連DBの概要

14

事故情報関連データベース

当社には大きく分けて以下の4種類のデータベースがある。

名称	内容
事故情報データベース	社内外の火災・爆発、漏洩など外部に影響があった異常現象、事故を扱うもの
設備トラブルデータベース	プラントの運転停止、運転への乱れ、品質への影響など、火災・爆発、漏洩などの外部に対する影響がなかったトラブル、不調、故障を扱うもの
労働災害データベース	挟まれ、巻き込まれ、転落などの労働災害を扱うもの
ヒヤリハットデータベース	主に労働災害防止を目的にしたもので、実体験のもののみでなく想定ヒヤリも多い

15

. 事故情報データベースの概要

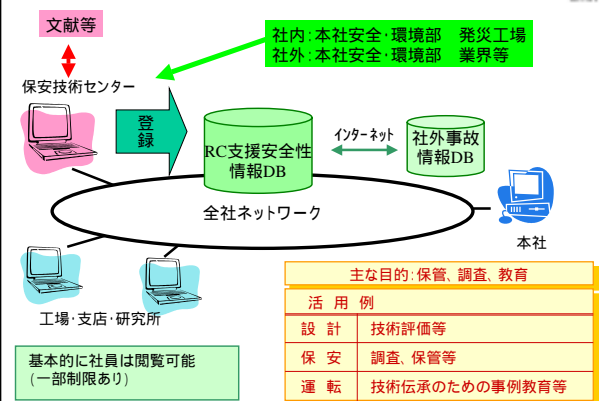
16

事故情報データベースの概要

- 社内ネットワーク(IE)にて運用
- 登録内容
 - 社内・関係会社の事例
 - 社外：危険物保安技術協会、業界、文献等
 - RISCAD、失敗知識DBにリンク可能
- 登録作業 2名(専任 1名)
- 閲覧可能者：社内ネットワーク接続可能な社員(派遣社員等含む)
 - 情報により、セキュリティを設定

17

RC支援安全性情報DB 事故情報の利用イメージ





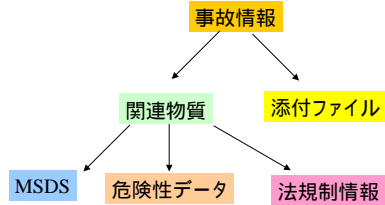
主な入出力項目

- 社内 / 社外
- 発生日、発生場所、発生設備名
- 物質、物質CAS No.
- 事故の種類(火災、爆発、漏洩、破裂、その他)
- 事故概要
- 被害状況
- 発生原因
- 情報源
- 教訓、対策
- 添付ファイル(事故報告書、写真など)

19



画面展開



20



4. 事故情報の活用事例

21



社内報で過去の事故事例を特集

- 過去に社内発生した重大事故について、わかりやすい図や当事者のコメントなど入れた特集記事を社内報に掲載し、安全意識向上を図っている

22



5. 現状の問題点と今後の課題

23



現状の問題点と今後の課題

1. 自社でどこまで登録するか？

- 1) 登録や維持管理に工数がかかるわりに利用頻度は少ない
- 2) 社外の事例は、加工が必要

自社事例は、充実させる
他社事例は、よいDBがあれば活用したい

2. 内容を充実させ、技術伝承ツールとできるか？

- 1) 自社、他社とも貴重な経験なので共有化し若手の教育に使えるように充実させる必要がある

図や教訓なども充実させ教育資料として活用したい

24